

## 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業者名) 東洋化成工業株式会社 高砂工場

### 1 環境保全活動に関する方針等

#### 1-1 環境保全活動に関する方針

環境理念として

- ① 3C (Clean Creative and Characteristic) を基本理念として、地球、環境、人間に優しい企業となり、PLA (Product Lifecycle Assessment) に徹した商品を顧客に提供する。
- ② 自社もかけがえのない地球の上にあることを認識し、環境、安全に徹する。

環境方針として

- ① 環境保全は経営の重要課題
  - ・ 本方針遂行のため、法規の要求事項・著しい環境側面・利害関係者の意見に基づき環境目的・目標を設定し、その実現を図り、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
- ② 法規制の順守
  - ・ 環境に係わる法規制および協定等の要求事項を守ります。
  - ・ 定常作業はもちろん、事故等の緊急時においても地域社会に迷惑をかけないよう努めます。
- ③ 研究開発から製品出荷及び輸送までの各プロセスにおける環境負荷の低減
  - ・ 環境負荷の低減に配慮した製品および製造プロセスの開発に努めます。
  - ・ 原材料の効率的な使用により省資源に努めます。
  - ・ 廃棄物の分別とリサイクルに努めます。
- ④ 教育訓練の充実と環境意識の向上
  - ・ 協力会社を含む全従業員が環境マネジメントシステムの基本を認識し、環境方針に沿った行動を行うよう教育を行います。
  - ・ 計画的な環境に関わる教育訓練を進め、環境保全の質を高めます。
- ⑤ 地域との協調連帯
  - ・ 当工場周辺の美化に努めます。

なお、本方針の開示を外部から求められた場合には公開します。

#### 1-2 環境保全活動に関する組織体制

EMS (環境マネジメントシステム) 実行組織図参照

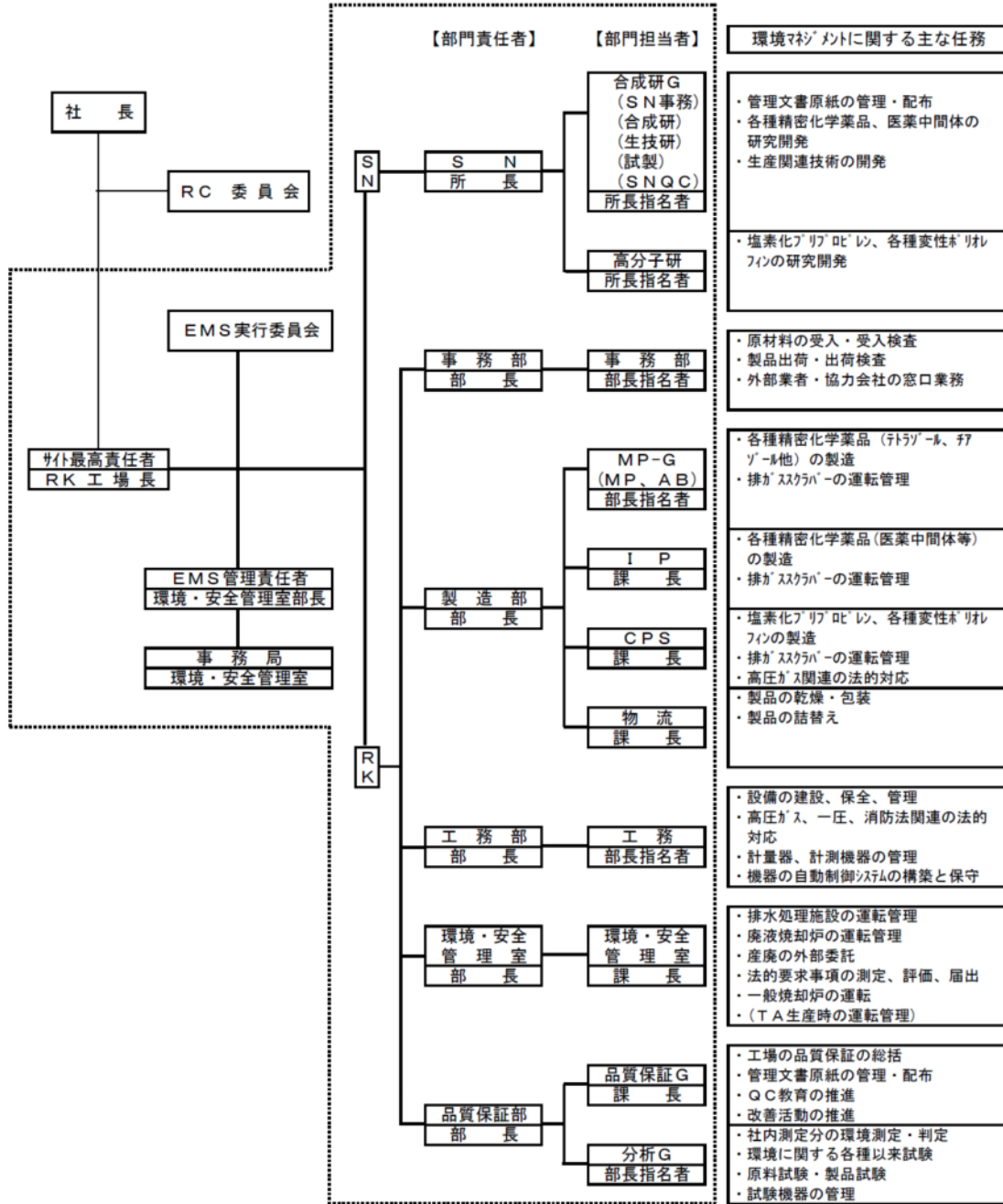
2 環境保全活動の実施状況等

項目	目標	計画、方策	取組結果	今後の取組計画
化学物質対策	漏洩の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質の保管、在庫管理の適正化</li> <li>施設の維持管理</li> <li>PCB機器の適正保管</li> <li>PRTR法による化学物質の排出量、移動量を把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保管管理実施中</li> <li>PM点検・保全実施中</li> <li>6/24 保管状況報告書提出</li> <li>PRTR報告書を6/3県へ郵送、6/5受領</li> </ul>	漏洩の未然防止、保管・管理の適正化  低濃度PCBの適正な保管 PRTR法改正対応
エネルギー対策	エネルギーの効率的な使用 CO2排出量の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料等使用量の削減意識の向上</li> <li>昼休みの消灯、適正な室温管理</li> <li>月度の排出量の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昼休みの消灯で455.5kw削減</li> <li>月度の燃料使用量より算出</li> <li>6/3 特定排出物質抑制実績報告書県へ郵送</li> <li>CO2排出実績量 10,084kg</li> </ul>	エネルギーの効率的な使用 使用原燃料の削減
廃棄物対策	自社処理量 8,044t/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の再利用、再資源化の実施</li> <li>適正処理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃油を燃料、廃アクリルを冷却剤として有効利用し、8,254.7t/年自社処理した。</li> </ul>	自社処理量 8201t/年を目標とする
不法投棄防止対策	クリーン活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所周辺の清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>約1回/月天川沿い道路掃除の実施</li> </ul>	クリーン活動の実施
グリーン購入の推進	全事務用品購入金額の30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務用品に関わるグリーン購入再生紙の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績 39.1%(949.7千円)</li> </ul>	全事務用品購入金額の30%
環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムの維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO14001の更新審査対応</li> <li>内部監査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>09.2.24-25にJCQAQの審査を受審</li> <li>6/9-30に1回目、12/8-19に2回目を実施</li> </ul>	環境マネジメントシステムの維持・改善
環境教育	環境保全に関する従業員教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全に関する従業員教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職場で自職場のマネジメントプログラム等の教育を実施</li> </ul>	環境保全に関する従業員教育の徹底
地域社会への参画	地域住民や行政が行う環境保全活動への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>天満宮掃除(1回/年)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2008.10.16実施、36名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天満宮掃除(1回/年)の実施</li> <li>他にも地域住民や行政等が行う活動に参加したい</li> </ul>
環境コミュニケーション	環境情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境情報の公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親会社にデータを提出し、グループ企業として報告している。</li> </ul>	自社単独で環境報告書の作成

# EMS (環境マネジメントシステム) 実行組織図

高砂工場長

制定 197.08.11  
改定14 07.07.26



1. 枠内が本マニュアルの適用範囲を示す。
2. 図中「RK」は高砂工場を、「SN」は化成品研究所を示す。
3. 他に、「品質管理部」、「環境・安全管理部」があるが、活動の環境側面を勘案し、「品質管理部」は品質保証Gに、「環境・安全管理部」は、環境・安全管理室に含めて運用する。